発行年月日　　2024年12月16日

環境活動レポート

2024年度

（2023年10月～2024年9月）

山本産業株式会社

承認	作成
社長	環境管理責任者
2024.12.16	2024.12.16

1. 会社概要

（1）会社名

山 本 産 業 株 式 会 社

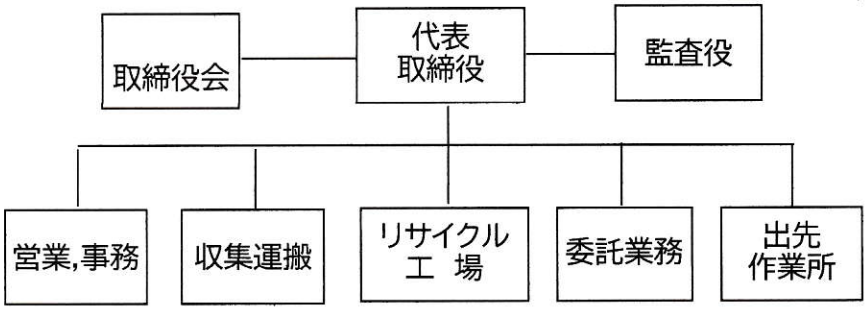
（2）代表者

代表取締役　山本　昭彦

（3）役 員

取締役　　山本　和子
取締役　　髙橋　優斗
取締役　　新見　陽子
取締役　　山縣　雅之
取締役　　大沼　隆
監査役　　髙橋　秀文

（4）組織図



（5）創 立

昭和46年6月

（6）資本金

2,400万円

（7）所在地

千葉県柏市十余二380－383
（定款上本社は千葉県柏市酒井根2－6－11になっているが、
従業員の配置もなく、営業活動は行っていない）
電　　話　04－7132－1878
F A X　04－7133－6144
E－メール eco@yamamotosangyou.co.
ホームページ　http://www.yamamotosangyou.co.jp

（8）会社履歴

昭和46年 6月	廃棄物処理業 山本商店開業
昭和48年10月	山本産業有限会社に組織変更
昭和48年10月	柏市一般廃棄物処理業許可取得
昭和50年 6月	八千代市一般廃棄物処理業許可取得
平成 8年10月	千葉県産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成12年 9月	千葉市産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成15年11月	山本産業株式会社に組織変更
平成18年 1月	千葉県産業廃棄物処分業許可取得
平成18年 4月	柏市一般廃棄物処分業許可取得
平成18年10月	船橋市産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成19年12月	エコアクション21認証・登録
平成22年12月	東京都産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成22年12月	埼玉県産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成24年 8月	神奈川県産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成24年 9月	栃木県産業廃棄物収集運搬業許可取得
平成28年 9月	再生可能エネルギー発電設備認定

（9）事業内容

①一般廃棄物収集運搬業
（柏市内、八千代市内の事業所から発生する一般廃棄物の収集運搬
及び収集した資源ごみの分別作業）

②一般廃棄物処分業
（柏市内の事業所から発生する一般廃棄物＜食品残渣＞の乾燥・発酵
による中間処理）

③産業廃棄物収集運搬業
（千葉県、東京都、埼玉県、神奈川県、栃木県から発生する産業廃棄物の収集運搬）
・許可品目
ア 燃え殻、イ 汚泥、ウ 廃油、エ 廃プラスチック類、オ 紙くず、カ 木くず、
キ 繊維くず、ク 動植物性残渣、ケ ゴムくず、コ 金属くず、サ ガラスくず、
コンクリートくず及び陶磁器くず、シ 鉱さい、ス がれき類（特別管理産業廃棄物を除く）

④産業廃棄物処分業
（産業廃棄物＜動植物性残渣＞の乾燥・発酵による中間処理）
・許可品目
動植物性残渣（特別管理産業廃棄物を除く）

（10）事業規模

①廃棄物受入量　13,485t（2024年度）
②売上高　668,887千円（2024年度）
③従業員　34名（2024年10月1日現在）
④事務所、リサイクル工場、積替保管場所床面積　1,652㎡
・リサイクル工場　727㎡
（生ごみリサイクル乾燥処理施設）
処理能力　4.5t／日
保管場所　（一般廃棄物）　107㎡
・一般廃棄物積替保管場所　657㎡
・事務棟　66㎡

（11）許認可番号

①柏市　一般廃棄物収集運搬業　第8号
・許可年月日　令和6年4月1日
・有効期限　令和8年3月31日
②八千代市　一般廃棄物収集運搬業　第5号
・許可年月日　令和6年4月1日
・有効期限　令和8年3月31日
③柏市　一般廃棄物処分業　第1号
・許可年月日　令和6年4月1日
・有効期限　令和8年3月31日
④柏市　産業廃棄物処分業　第11120010995号
・許可年月日　令和3年2月18日
・有効期限　令和8年1月19日
・許可品目　動植物性残渣（特別管理産業廃棄物を除く）
⑤千葉県　産業廃棄物収集運搬業　第01200010995号
・許可年月日　令和3年11月2日
・有効期限　令和8年9月30日
・許可品目　ア　燃え殻、イ　汚泥、ウ　廃油、エ　廃プラスチック類、オ　紙くず、カ　木くず、キ　繊維くず、ク　動植物性残渣、ケ　ゴムくず、コ　金属くず、サ　ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、シ　鉱さい、ス　がれき類（特別管理産業廃棄物を除く）

⑥東京都　産業廃棄物収集運搬業　第13－00－010995号
・許可年月日　令和2年12月13日
・有効期限　令和7年12月12日
・許可品目　ア 汚泥、イ 廃プラスチック類、ウ 紙くず、エ 木くず、オ 繊維くず 、
カ 動植物性残渣、キ 金属くず
ク ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、ケ がれき類
（特別管理産業廃棄物を除く）

⑦埼玉県　産業廃棄物収集運搬業　第01100010995号
・許可年月日　令和3年2月3日
・有効期限　令和7年12月16日
・許可品目　ア 汚泥、イ 廃プラスチック類、ウ 紙くず、エ 木くず、オ 繊維くず、
カ 動植物性残渣、キ 金属くず
ク ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、ケ がれき類
（特別管理産業廃棄物を除く）

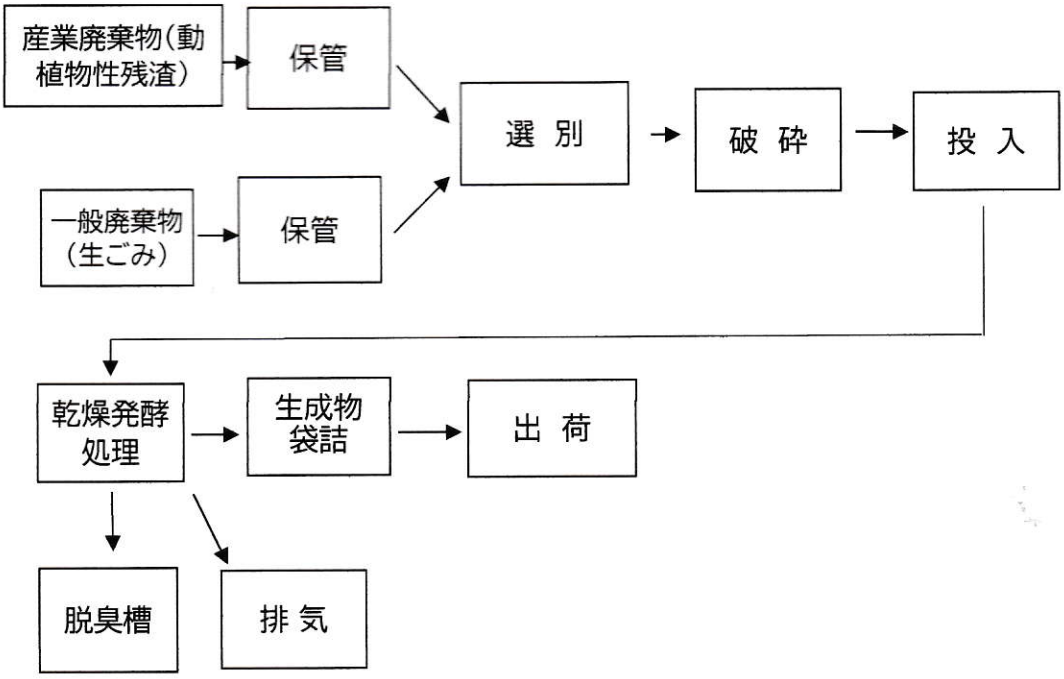
⑧神奈川県　産業廃棄物収集運搬業　第01400010995号
・許可年月日　令和5年2月7日
・有効期限　令和9年8月28日
・許可品目　ア 燃え殻、イ 汚泥、ウ 廃プラスチック類、エ 紙くず、オ 木くず
カ 繊維くず、キ 動植物性残渣、ク ゴムくず、ケ 金属くず、コ ばいじん
サ ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず、シ 鉱さい、ス がれき類
（特別管理産業廃棄物を除く）

⑨栃木県　産業廃棄物収集運搬業　第00900010995号
・許可年月日　令和4年9月3日
・有効期限　令和9年9月2日
・許可品目　ア 廃プラスチック類、イ 紙くず、ウ 木くず、エ 繊維くず 、
オ 金属くず、カ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
キ がれき類
（特別管理産業廃棄物を除く）

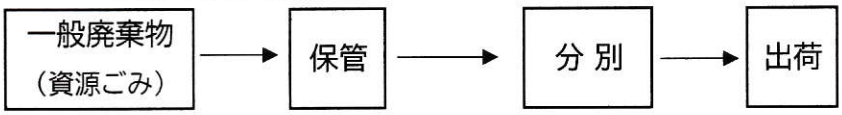
（12）保有車両・重機

10tアームロール	2台		
4tパッカー	3台	ユンボ	1台
4tアームロール	2台		
3tパッカー	12台	フォークリフト	2台
2tパッカー	2台		
2t平ボデー	2台		
1t平ボデー	1台		
営業車	5台		

（13） 生ごみリサイクル処理工程



資源ごみの分別作業



（14） 廃棄物の処理実績　　（2024年度）

一般廃棄物収集運搬量	11,895トン
産業廃棄物収集運搬量	902トン
生ごみリサイクル処理量	1,363トン

（15） 廃棄物処理料金

収集運搬および中間処理料金は、種類・量・距離等により計算します。
当社営業まで連絡ください。（電話　04－7132－1878）

（16） 産業廃棄物関係講習会の受講状況

講習名　産業廃棄物処理業許可申請に関する講習会（更新）の処分課程
実施者　財団法人日本産業廃棄物処理振興センター
修了日　2020年9月10日
修了者　1名

（17） 地域融和

①柏市環境保全協議会会員として、地域環境保全活動に参加

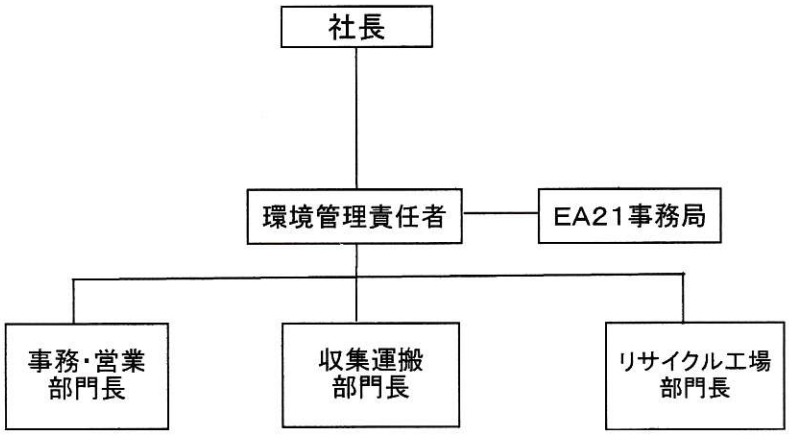
②柏市環境審議会委員として地域環境保全等の活動に参画

③柏産業懇話会会員として、地域環境保全活動に参加

④会社見学を積極的に受け入れ、当社事業およびリサイクル等の理解に努めている

⑤社員が会社周辺の清掃を実施

（18） 環境管理体制組織



（19） 環境関係責任者・担当者および連絡先

責任者 取締役 山縣 雅之

電　　話　04－7132－1878
F A X　04－7133－6144
E－メール　eco@yamamotosangyou.co.jp
ホームページ　http://www.yamamotosangyou.co.jp

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

認証・登録番号　　:0002067
認証・登録年月日　:2007/12/13
認証・登録事業者名:山本産業株式会社

対象事業所名　　:事務所・工場・積替保管場所

所在地　　:千葉県柏市十余二380-383

事業活動内容　　:一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業

3. 環境経営方針

《環境経営方針》

1. 基本理念

山本産業株式会社は、「ゴミは宝である」を常に心がけ行動します。
企業活動の原点として、自然の声・お客様の声に応えて行くとともに、地球環境保全の重要性を認識し、毎日の事業活動を通じて、地域社会、地域環境保全に寄与するよう努めます。

2. 環境経営方針

当社は、基本理念のもとに、関係法令および行政指導を遵守し、継続的に環境負荷の削減に自主的、積極的に取り組みます。また、定期的な見直し、環境経営システムの継続的改善を行います。重点施策は、以下のとおりです。

(1)お客様(排出事業所)はもとより、行政、関係団体、地域の住民の皆様と広くコミュニケーションを図り、循環型社会の構築に努めます。

(2)収集する廃棄物の分別を徹底し資源化率の向上に努め、残渣の節減に努めます。

(3)全車両のエコドライブの実践に努めます。

(4)食品リサイクル工場の効率的な管理運営に努め、各種エネルギーの削減に努めます。

(5)エコマーク・グリーンマーク商品を積極的に購入します。

(6)公共交通機関の積極的な利用を推進します。

(7)全従業員に環境経営方針を周知し、その達成に努めます。

(8)環境経営方針はホームページ等で一般の方にも公開します。

制定　2007年6月15日
改定　2021年11月1日
山本産業株式会社
代表取締役　山本昭彦

中期環境経営目標
2023年10月から3ヵ年

・環境方針で宣言した項目は必ず挙げます。
・環境への負荷の自己チェックで特定した項目
(本業に関わる環境負荷の大きな項目)は必ず挙げます。
・環境への取組の自己チェックの結果を踏まえ、重要と思われる取組を含めます。
・当社での年度設定は10月～9月を年度とする。

	目標項目		基準年実績 2022年度	単位	2023年度		2024年度		2025年度	
					目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
全社	二酸化炭素の削減		393,266	kg	383,617	削減率2.45%	379,685	削減率3.45%	375,752	削減率4.45%
事務所	コピー枚数の節約		64,163	枚	63,521	節減率1.0%	62,880	節減率2.0%	62,238	節減率3.0%
	節電(数量工場に含む)		-	kWh	節電活動	-	節電活動	-	節電活動	-
	厨房ガスの節減		21.00	m^3	20.79	節減率1.0%	20.58	節減率2.0%	20.37	節減率3.0%
	節水(数量工場に含む)		-	m^3	節水活動	-	節水活動	-	節水活動	-
	ガソリン量の節減		6,959	ℓ	6,889	節減率1.0%	6,820	節減率2.0%	6,750	節減率3.0%
	グリーン購入の推進		-	円	-	維持	-	維持	-	維持
	廃棄物の削減		33	kg	33	1件	32	2件	32	3件
収集業務	燃費向上	軽油	3.60	km/ℓ	3.71	向上率3.0%	3.74	向上率4.0%	3.78	向上率5.0%
	燃料量の節減	軽油	83,677	ℓ	81,167	節減率3.0%	80,330	節減率4.0%	79,493	節減率5.0%
	電力の節減		-	kWh	節減活動	-	節減活動	-	節減活動	-
	節水		-	㎥	節水活動	-	節水活動	-	節水活動	-
	車両の清潔保持		-		清潔保持	-	清潔保持	-	清潔保持	-
	収集廃棄物の資源化率向上		-		向上活動	-	向上活動	-	向上活動	-
委託業務	燃費向上	軽油	3.1	km/ℓ	3.14	向上率3.0%	3.17	向上率4.0%	3.20	向上率5.0%
	燃料量の削減	軽油	24,294.0	ℓ	23,565	節減率3.0%	23,322	節減率4.0%	23,079	節減率5.0%
	車両の清潔保持		-		清潔保持	-	清潔保持	-	清潔保持	-
	分別回収の適正化		-		適正化	-	適正化	-	適正化	-
	車両修繕管理		-		修繕費削減	-	修繕費削減	-	修繕費削減	-
リサイクル工場	電力の節減(数量事務所を含む)		188,640	kWh	186,754	節減率1.0%	184,867	節減率2.0%	182,981	節減率3.0%
	節水(数量事務所を含む)		522	kWh	517	節減率1.0%	512	節減率2.0%	506	節減率3.0%
	搬入廃棄物の資源化推進		-	kWh	推進活動	-	推進活動	-	推進活動	-
	工場内清潔保持		-	kWh	清潔保持	-	清潔保持	-	清潔保持	-
	適正な重機操作		-	kWh	向上活動	-	向上活動	-	向上活動	-

5.主要な環境活動計画と取り組み結果及び評価、次年度の取り組み

(1)活動計画内容と取り組み結果の評価

	環境目標	取り組み	結果	評価	次年度の取組
全	二酸化炭素の削減	電力・化石燃料の削減	実施	節電、エコドライブの更なる推進	継続
事務所	コピー枚数の節減	両面コピーの徹底	実施	会議資料をできるだけ削減しました。	継続
		会議資料の節減	実施		継続
		資料の電子化	実施		継続
	燃料(営業車用)の節減	エコドライブの実施	実施	エコドライブの推進を継続しましょう。	継続
	ガスの節減	湯沸かし器の適量・適温	実施	適量・適温使用が実践できた。	継続
	廃棄物の削減	分別の徹底	実施	習慣化できている。	継続
	エコマーク・グリーン商品の購入	エコマーク・グリーン商品を優先購入	実施	積極的にエコ・グリーン商品の購入を優先しています。	継続
		文具等はエコマーク商品とする	実施		継続
		用紙は、古紙配合100%の商品を購入	実施		継続
	節電	照明の適正管理	実施	節電する意識が身につけられたと感じます。継続して取り組みましょう。	継続
		冷房28℃以上、暖房20℃以下(室温)	実施		継続
		OA機器の適正管理(使用後は電源を切る)	実施		継続
収集部門	収集廃棄物の資源化率の向上	収集時の分別の徹底	実施	継続する。	継続
		顧客に対しﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞや顧客訪問によるPRの強化	実施		継続
	燃費向上(軽油)	エコドライブ、安全運転の実施	実施	エコドライブの重要性を、従業員に教育しさらに努力する。	継続
		2,000回転以内、早めのシフトアップ	実施		継続
		暖気運転の短縮(5分以内)	実施		継続
		急停車、急発進の抑制	実施		継続
	燃料の節減(軽油、ガソリン)	車両のHV(ハイブリッド)・EV(電気)化の検討	実施	普通乗用車以外の車両も検討。	継続
		渋滞ルートの回避	実施	継続する。	継続
	電力の節減	照明の小まめな節電	実施	継続する。	継続
		冷房28℃以上暖房20℃以下(室温)	実施		
	回収廃棄物の異物削減	異物削減の情報収集	実施	ドライバーとの情報の共有	継続
		排出事業所へ依頼	実施	分別の依頼を実施。	継続
	車両の清潔保持	適度な洗車	実施	車両を清潔に保持しています。	継続
	節水	トイレ・洗車等の節水の徹底	実施	節水の意識が身についています。	継続
	車両修繕	月例会議での情報収集	実施	随時会議を行いました。	継続
工場部門	電力の節減	機械・機器の適正管理	実施	継続する。	継続
		電源は作業後直ちに電源を切る	実施	継続する。	継続
		休憩時間等は機器類の電源を切る	実施	継続する。	継続
		照明の適正管理	実施	継続する。	継続
		漏電確認	実施	継続する。	継続
	工場内清潔保持	場内にゴミが散乱することのないよう常に清掃する	実施	引き続き4Sを実施する。	継続

工場部門	節水(事務所含む)	フォークリフト・収集車両の洗車の節水を徹底する	実 施	継続する。	継続
		清掃作業中水の出しっ放しをしない	実 施	継続する。	継続
		水漏れの定期点検 (使用後、蛇口を必ず閉める)	実 施	継続する。	継続
	灯油節減	洗車機の温水使用の節約	実 施	温水使用を中止した。	廃止
	搬入廃棄物の資源化	搬入される生ごみの選別を徹底し異物を可能な限り除去する	実 施	重要事項であるので、一層の推進。	継続
	重機	無駄なアイドリングをやめる	実 施	重機のアイドリングストップ・無駄な空ぶかしなどに注意しました。	継続
		不必要な空ぶかし	実 施		継続
委託業務	燃費向上 (軽油)	エコドライブの実施	実 施	エコドライブ゛の重要性を、従業員に教育しさらに努力する。	継続
		暖気運転の短縮(5分以内)	実 施		継続
		過積載の防止	実 施		継続
		アイドリングストップ状況を月次で車両ごと確認	実 施		継続
		急停車、急発進の抑制	実 施		継続
	燃料の節減	回収ルートの適正化	実 施	随時検討し改善します。	継続
	車両の清潔保持	週一回の車体・押板清掃	実 施	随時清潔保持を保ちます。	継続
		車内の清掃	実 施		継続
	分別回収の適正化	不適合品の取り残し	実 施	分別表に則っていない物等の確認	継続
		分別排出の指導	実 施	声掛けし、分別・排出方法を指導	継続
		取り残しの有無	実 施	取り残し対策等、随時見直し	継続
		異物削減の情報収集	実 施	分別されていない場所等の情報共有	継続
	車両修繕管理	情報の共有	実 施	車両の異常等があれば速やかに報告	継続
		終礼時の車両報告	実 施	毎日、車両の異常等がないか報告する	継続
		出航前の点検の徹底	実 施	業務中に車両の故障等がないよう徹底	継続
		適切な塵芥車の使用方法(講習等)	実 施	講師等を招いて塵芥車のメンテナンス方法や扱い方等を理解する	継続

6. 環境経営目標の実績と次年度の取り組み

(1)環境経営目標の設定

当社は、収集運搬部門・委託業務部門・食品リサイクル部門(肥料化)・事務部門があり、各部門の業務内容は大きく異なります。

このため、環境負荷と環境への取り組みを各部門ごとに把握し、環境への影響が高い項目を目標としました。

(2)環境経営目標と取り組み状況

①二酸化炭素節減として、エネルギー投入量などは種類毎に目標を定めました。
収集部門では化石燃料(軽油)委託部門では軽油
工場部門は電力の節減に取り組みました。

②水資源投入量節減として、事務所では生活用水、工場では高圧洗浄機
作業終了時の機器類の清掃水、収集部門、委託部門車両の洗車水の節減に取り組みました。

③廃棄物の節減は、事務所では紙のリサイクルや使用量節減、収集部門では収集
廃棄物の資源化率向上のため、排出事業者への分別徹底の依頼、リサイクル工場の分別の徹底に取り組みました。

④事務所ではグリーン商品の購入に努めました。

(3)2024年度の主な目標および実績・評価等

	環境目標	2022年度実績	2024年度目標値	2024年度実績	評価
		(基準年)	目標	増減	
全社	二酸化炭素の削減	393,266	379,685	382,304	使用電力増加や収集量増加による燃料使用が増えた為、目標値に届くことが出来ませんでした。
			3.5%削減	0.7%増加	
事務所	コピー枚数の節減 枚	64,163	62,880	63,806	両面印刷をしていますが、会議資料や営業資料の作成増加のため目標の未達となりました。
			2.0%節減	1.5%増加	
	燃料(営業車用)の節減 L	6,959	6,820	7,860	ハイブリッド車の使用を優先しましたが増車のため使用量が増加してしまいました。
			2.0%節減	15.3%増加	
	厨房ガスの節減 ㎥	21	21	15	適量・適温での使用が習慣化できたため達成しました。
			2.0%節減	26.1%節減	
	廃棄物の削減 kg	33	32	22	分別の徹底が身についています。
			2.0%節減	32%減少	
	エコマーク・グリーン商品の購入 円	-	-	-	優先的にエコマーク・グリーン商品を購入しています。
			維持		
収集業務	燃費向上(軽油) km/ℓ	3.60	3.74	3.23	1台あたりの収集量が増えた為燃費の低下がみられました。随時、コースの見直しと車両購入を検討していきたいと思います。
			4.0%向上	13.5%未達	
	燃料の節減(軽油) ℓ	83,677	80,330	80,330	燃費は悪くなりましたが効率的な作業を進め、使用量は増減なしとなりました。
			4.0%削減	増減なし	
	節水	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動が、身についています。
	収集廃棄物資源化率向上	向上活動	向上活動	向上活動	収集する廃棄物をより細かく確認しています。
	車両の清潔保持	清潔保持	清潔保持	清潔保持	年間通じ、清潔に保持できました。
	車両の修繕管理	修繕管理	修繕管理	修繕管理	計画に基づいた修理修繕が行われました。
	電力の節減 kWh		節減活動	-	日々の節電活動は習慣がついてきています。
			実施	実施	

委託業務	燃費向上(軽油)	km/ℓ	3.05	3.17	3.30	エコドライブを実践し、燃費向上が図れました。
				4.0%向上	4.1%向上	
	燃料の削減（軽油）	ℓ	24,294	23,322	21,916	収集箇所が増加していますが、効率的な回収を目指し、使用量も削減できました。
				4.0%節減	6.03%節減	
	車両の清潔保持		清潔保持	清潔保持	清潔保持	年間通じ、清潔に保持できました。
	分別回収の適正化		適正	適正	適正	日々、分別の意識を持ち、回収にあたりましょう。
	車両修繕管理		修繕費削減	修繕費削減	修繕費削減	早期に修理補修箇所を発見していきましょう。
工場	電力の節減（事務所含む）	kWh	188,640	184,867	191,953	日々の節電活動を再度徹底し、一人一人が意識しながら取り組みましょう。
				2.0%節減	3.83%増	
	適正な重機操作		向上活動	向上活動	向上活動	アイドリングストップ、安全運転を実施しています。
	工場内清潔保持		実施	実施	実施	その都度実施した。
	節水（事務所含む）	㎥	522	512	261	清掃の機会が増えましたが、常に節水を意識していきましょう。
				2.0%節減	48.98%節減	
	搬入廃棄物の資源化推進		実施	実施	実施	搬入生ごみの選別を徹底し、異物を可能な限り除去した。今回は機械の中を変え異物を除去する事を試みました。

※電力の二酸化炭素係数は2019年7月22日環境省発表2017年度東京電力エナジーパートナー調整後排出係数0.462(kg-CO2/kWh)を適用

(4)次年度の取り組み

事務所、収集部門、委託業務、工場各部門ともに大きな変更点がないため、今年度の取り組みを次年度も継続して取り組みます。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)法規名

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律・柏市環境保全条例・計量法・家電リサイクル法
・浄化槽法・消防法・柏市火災予防条例・電気事業法・再エネ特措法・労働安全衛生法
・高圧ガス保安法・道路交通法・貨物自動車運送事業法・道路運送車両法・柏市廃棄物処理清掃条例
・地球温暖化対策の促進に対する法律/柏市地球温暖化対策条例
・食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律・グリーン購入法
・循環型社会形成推進基本法・容器包装リサイクル法・水質汚濁防止法・大気汚染防止法

(2)環境関連法規への違反・訴訟等の有無

上記環境関連法規への違反・訴訟等ははありません。
なお、関係当局より違反・訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。
環境関連法規を令和5年12月に順守状況を確認し、逸脱はありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

EA21システムの取り組みは、16年目で取り組みとしては概ね良好と評価します。

① 乾燥機を変更し11年が経過しました。
工場内での電気使用量は節減目標が達成できませんでした。
工場内電灯を水銀灯からLED照明に変更しました。
工場屋根部分に太陽光発電設備を設置し再生エネルギーの運用をしています。。
工場で生成される堆肥について、品質の向上にも力を入れていきたいと思います。

② 今年度は2022年度実績数値を基準年として環境活動を実施してまいりました。
中期計画が3年経過しましたので次年度から新中期計画を立て実施してまいります。

③ 収集ルートの効率化は常に検討し、エコドライブの実践を強化してまいります。
収集業務が拡大し燃料使用量が増加しました。
ドライブレコーダーを活用しエコドライブの意識を持ち、燃費目標の達成を目指します。

④ 老朽化による故障や能力低下の著しい車両は、環境基準をクリアしている車に順次、買い替えを実施してまいります。

⑤ 全従業員に環境方針の一層の周知を図り全員参加で継続的に環境活動に取り組みます。

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0002067

この環境活動レポートは、ご希望があれば差し上げています
ご希望の方は下記事務所窓口までお申し出ください
なお、エコアクション21中央事務局のHPでもご覧になれます
(http://www.ea21.jp/)

山本産業株式会社

〒277-0853
柏市十余二380-383
☎ 04-7132-1878
04-7133-6144